

地域密着型サービス運営推進会議報告書

会議名称 令和6年度 第5回 運営推進会議
事業所名 大王シルバーケア豊壽園
種類 認知症対応型共同生活介護
認知症対応型通所介護
日時 令和6年 12月 5日(木) 13時30分 ~ 14時30分
会場 大王シルバーケア豊壽園 相談室

出席者

区分	人数	区分	人数
利用者代表	0名	地域包括支援センター	1名
利用者の家族	0名	市役所職員	1名
地域住民の代表	0名	その他	0名
知見を有する者	1名	事業所	3名

【活動状況の報告】

利用状況 (12月1日現在)

入居者 9名
新規入居者 1名
退居者 0名
通所登録者 3名
通所利用者 3名
通所新規利用者 1名

【行事報告】

10月 運営推進会議

11月 大王美術展 出品 見学
志摩市民病院祭り見学

【報告内容】

・利用者の状況報告

グループホーム・・入院者1名 介護4女性 志摩市民病院へ尿路感染症のため10日間の入院となりました。

新規利用1名 玉城病院より介護5男性 大腿骨転子部骨折 OPE
認知症が強く車いす使用されるが理解が難しく転倒のリスク高い
歩行器にてリハビリを行いながら状態、体調の管理に努める。

通所・・3名利用中、体調などお変わりなし。

12/1より 介護1女性 再利用開始、ADL状態お変わりなく様子あり
週6回サービス利用

・コロナウィルスなど感染症の現況

期間中の感染者 職員 0 名、利用者 0 名あり 現在 0 名
参加者より感染状況の情報をいただく
地域で学級閉鎖など報告有り
インフルエンザ予防接種・・・利用者で希望の方について支援行い接種完了
職員については社内にて接種施行されました。
施設内での乾燥対策として加湿器の設置など行い予防に努める

- ・拘束委員会
期間中の事故報告はなし
拘束対応の方なし、現在の利用者のADLなど状態について別紙【身体拘束状況について】にて報告行う
新規の方のADLや認知症状について報告し転倒などのりリスクについてご意見話し合い行う。居室内での転倒転落予防の為、足元センサーを設置させていただいておりご家族へ説明承いただいております。

【障がい事業について】

- ・高齢者との交流や日常生活の様子をお伝えする。
- ・日常の中でコミュニケーションが行われお互いに刺激となり、また助け合いや会話の機会が多くみらる。明るい声が以前より増えたのでは、といった意見も聞かれる。
- ・職員からの声かけにも工夫が必要との意見も聞かれました。

【サービス評価】

- R6 年度サービス評価について報告、話し合い行う。
- ・R6 年度の目標について現在の進行具合と振り返りを行う。
災害への備えとして必要備品の管理調達をする
訓練の継続的に行う
 - ・感染症との付き合いについて
施設での感染予防に取り組む
外出時の対応に十分気を付け積極的に行事参加していく
家族様と面会対応の工夫を行い感染予防に努める
 - ・活用ツールによる意見交換を行う
事業所より今後の展開などご意見頂く
外部よりのボランティア受け入れの紹介や他事業所での様子を伺う
オレンジカフェ、スタンプ事業、おたっしゅサポート、自治会活動の様子
 - ・次回事業所での話し合いについて報告予定とする

次回運営推進会議の開催日

令和 7 年 2 月 6 日（木） 13 時 30 分～